

癌の増大・転移を抑える新規低分子化合物

生化学

教授

山内 明 Akira Yamauchi

キーワード

癌、転移、細胞走化性



シーズ内容

これまで開発・改良してきた画像解析に基づいたリアルタイム細胞動態解析法を用いて、アカデミア保有化合物ライブラリー（計百数十種類）から膀胱癌細胞の走化性を抑制する新規物質を少なくとも4種見出した。この化合物は細胞毒性が極めて低い。そのうちの1つ化合物Xは動物実験で担癌マウスの腫瘍増大と転移を抑える効果があることが分かった。

また、走化性アッセイについては膀胱癌のみならず、肺癌、大腸癌、乳癌、子宮頸癌、子宮平滑筋肉腫細胞でも走化性アッセイ系を確立しており、種々の癌細胞の挙動の評価が可能である。

図1. 化合物Xはヒト癌細胞の細胞動態を抑制する (*in vitro*)

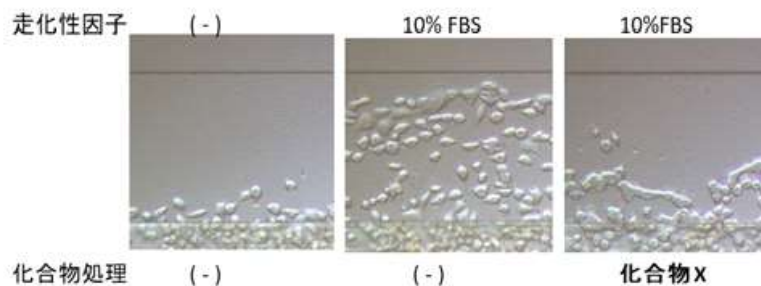
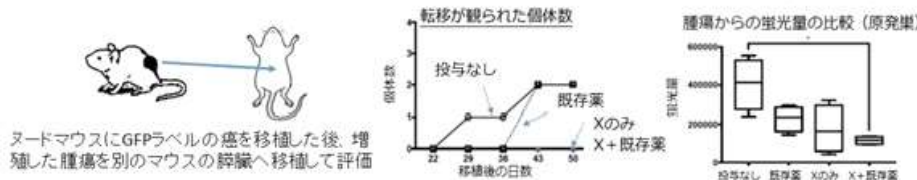


図2. 化合物Xは担癌マウスの癌転移と腫瘍増大を抑制する (*in vivo*)



想定される産業への応用

抗腫瘍薬

特許出願状況：出願済

【お問い合わせ】

川崎医科大学 産学連携知的財産管理室

Tel:086-462-1111 (内線:26030・26049)

mail: s-renkei@med.kawasaki-m.ac.jp